



# 図書館だより

令和4年3月  
八尾高校図書館  
14H 福島・堀田

みなさんこんにちは！！今回のテーマはミステリーです！このテーマを選んだ理由は、皆さんにもっとミステリー小説の良さを知ってほしいからです。怖いというイメージがあるかもしれませんがそんなことはありません。もちろん怖いものもあるのですが、ロマンチックなミステリー小説もあります。これを機会にミステリー小説の沼にはまってみませんか？

## ミステリー小説



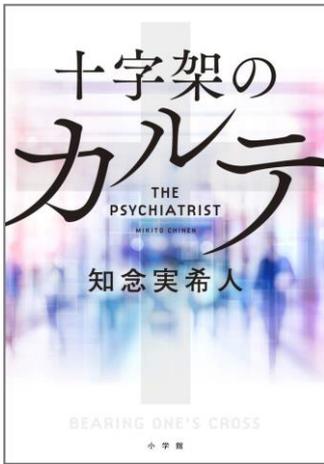
### 「変な家」 雨穴 飛鳥新社

この本に出てくる家は実在する家です。著者が友人に引っ越しの相談をされ、間取りを見てみると、それはとてもおかしな間取りでした。ミステリー好きの著者はその間取りから様々な考察を広げていき、この家は代々伝わる恐ろしい呪いに縛られていたことがわかります。あなたにはこの間取りのおかしさ、怖さがわかりますか？最後の最後まで緊張感が続く本です。本を読むことが苦手な人でも吸い込まれていくほど面白い本となっています。

### 「怖い羊たちの祝宴」 米澤穂信 新潮社

とある貴族の召使の少年の日記の内容からすべてが始まります。最初はなんの変哲もない、ただ楽しいお嬢様との話が述べられていますが、話が進むとある事件が起きます。読んでいる間は、まるでその現場にいるような臨場感と緊張感が味わえます。最後に事件の真相がわかると誰もがゾッとすること間違いありません。この本には5つの話が載っています。どの話も怖いけども美しさがあります。この著者の米澤穂信さんの文章の表現の仕方はとても美しいです。この本を読めば、あなたも米澤さんの本の虜になってしまうでしょう。とても読みやすく、考察をしながら読み進めることができるので是非読んでほしいです。





## 「十字架のカルテ」 知念実希人 小学館

日本有数の精神鑑定医「影山司」の助手に志願した新人医師「弓削凜」は、一つ一つの事件に真摯に向き合い、犯罪者の心の闇を暴いていく。面談に同伴することで真相を知ることになるが、知れば知るほど謎は増えていく。究極の頭脳戦の果てに影山が見据える未来とは。そして、凜が精神鑑定を学ばなければいけない理由とは、…。終始ドキドキする緊張感が止まらない最後の最後まで読み応えのあるミステリー小説です。



## 令和3年度 個人貸出冊数ランキング!



2年生	1位 11冊	2位 8冊	3位 7冊	
1年生	1位 36冊	2位 34冊	3位 27冊	でした!

## 貸出冊数上位図書!



十字架のカルテ/逢う日、花咲く。/オルタネート/神様に一番近い動物  
青くて痛くて脆い/元彼の遺言状/薬屋のひとりごと/三体/変な家

## 図書館からのお知らせ

3月25日(金)～4月7日(木)まで休館します。  
来年度も来館をお待ちしています!